

# 山行報告書

作成 2012年7月8日  
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	経ヶ峰(819m) [弓引山地]	目的[方法]	新人研修
期間	2012年7月7日(土)~8日(日)	形態	1泊2日(テント&避難小屋泊)
参加人数	8人(指導者4名、新人4名)		

## 行動記録:

7/7(土) 曇り時々小雨、中風、18 @経ヶ峰

自宅(445) =0:15= マルK大西町店(500,504) =0:03= 岡崎工(507) =1:03= 亀山SA[朝食](610,643) =0:09= 芸濃C(652) =0:08= ローソン安濃町草生店(700,710) =0:25= 草生天神ルート登山口P(735,834) -0:21= 小橋(855,907) ?0:10= 山出道合流(917,922) -1:13= 経ヶ峰(1035,1058) -0:08= 休養施設TS1(1106) 就寝(19:50)

7/8(日) 晴れ時々曇り、中風、16 @経ヶ峰

起床(3:30) TS1(555) -0:12= 経ヶ峰(607,610) -0:24= 大洞ノ峰(634,700) -0:23= 経ヶ峰(723) ?0:28= 下降点[読図](751,821) ?0:17= 山出道分岐(838) -0:05= 小橋(843,900) ?0:12= 登山口P(912,927) =0:16= あのう温泉(943,1100) =0:15= 蕎麦 平尾屋(1115,1150) =0:01= 芸濃工(1151) =1:02= 岡崎工(1253) =0:20= 自宅(1313)

## 概念図:



## アプローチメモ:

- ETC料金[休割]:
- ・岡崎~芸濃(99.6km)
- ¥3,250[¥1,650]
- コンビニ
- ・ローソン安濃町草生店:
- 059-268-3255
- 駐車場
- ・登山口P(横列10台)
- 区画線を守る
- 避難小屋:
- ・休養施設(20人)、常流水、トイレ(大小)
- 温泉:
- ・あのう温泉: ¥300
- 059-268-5833
- 蕎麦:
- ・平尾屋: ざる¥1,000
- 059-230-3788

## 日誌:

芸濃工を降りて、左折してグリーンロードに入り道なりに走る。草生小南で右折し350m、仲之郷バス停で左折し1km、菅原神社を過ぎた1本目で右折し集落を抜けて草生天神ルート登山口Pに着く。舗装路だが道は狭い。昨夜の大雨で枝が倒れ道路を塞いでいた。準備してきた鋸で切って難な突破した。

登山口Pは区画線に従えば10台駐車できる。トイレはない。ザックの点検、雨支度そして入念に準備運動してから出発、スローペースを徹底して歩く。予定より1時間遅れで小屋に到着。

**【研修】** 11:30-13:00: テント設営 撤収、13:45-14:45: パッキング、14:45-15:30: Q&A、16:00-19:30: 調理&夕食  
夕食後、テント設営、新人4名はテント泊、指導者は小屋泊  
翌朝、3:30起床後、新人はテント撤収、パッキングして4:20に小屋集合

朝食を済ませ、とどろき空荷で山頂へ。朝陽に光る伊勢湾を眺める。戻って丁寧に小屋清掃してから出発する。経ヶ峰から西に延びる尾根を縦走し大洞ノ峰(切開き)まで往復する。歩行時間と距離の感覚を確認する。

経ヶ峰に戻って下山開始、下降点先の小ピーク(地形図にある分岐点)で、地図の見方、磁石の使い方を確認する。

駐車場に戻るまで、たくさんの日帰り登山者とすれ違う。駐車場は満車、更に2台上がってきたので、早々に仕舞い支度して「あのう温泉」へと向う。一番風呂に浸かり、ざる蕎麦をいただき、四日市の渋滞も無い順調に昼過ぎに帰宅する。

## 感想:

経ヶ峰は地元の人に愛された山だと感じました。休養施設も良く管理されています。土曜日、昼食休憩された四日市の高校クラブは小屋内もトイレも丁寧に清掃して帰られました。皆でいつまでも大切にしたいものです。